

年の初めに防火意識を新たに

弟子屈消防・川湯消防の出初式



技が光るはしご乗り(川湯消防出初式)

また、長年、消防活動に尽力してきた消防団員の表彰が行われ、今年1年の防火・防災の意識を新たにしました。



勇ましく分列行進(弟子屈消防出初式)

川湯消防出初式は1月6日、川湯消防庁舎前などで行われました。式には、消防職団員や来賓、関係者などが出席し、恒例のはしご乗りの披露などが行われました。川湯市街地9カ所で行われたはしご乗りでは、竹はしの上でそろいの法被を着た職団員が華麗な技を披露し、見物していた皆さんから拍手喝さいがわきました。

また、長年、消防活動に尽力してきた消防団員の表彰が行われ、今年1年の防火・防災の意識を新たにしました。

弟子屈高校 地元観光旅行プランを発表



町民の皆さんの前でプレゼンする生徒たち

観光を通して社会に貢献する活動は、地域の自然や歴史、文化に対する理解を深め、異文化コミュニケーションを学ぶ上で貴重な財産となります。また、その取り組みは、地元の問題や課題の探求力やプレゼン能力、コミュニケーション能力を養うこと、社会での表現力や企画力などを養うことにつながります。

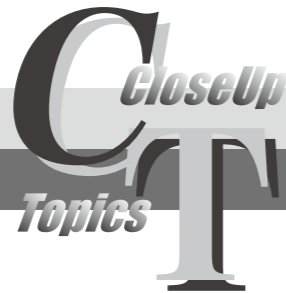
同校では、今後もこうした取り組みを継続して進めていきたいとしています。

総合的な学習を利用

弟子屈高校(宮嶋衛次校長)の3年生63人が12月12日、公民館で観光旅行プランの発表会を行いました。

発表会は、同校の生徒が、昨年8月に開かれた「観光甲子園(同実行委員会主催)へ応募した旅行プランを、町や区、市がえこまち推進協議会などの協力を得ながら「弟子屈2days」など町内巡回研修を実施し、さらに内容を精査したものを町民の皆さん向けに発表したものです。プランへの取り組み

町の話



町の話



交通安全宣言を行う常陸さん



選挙管理委員会からの記念品を受け取る星川竜也さん(右)



弟子屈ロータリークラブからの記念品を受け取る竹内明生さん(右)

大人としての新たな一歩

第65回弟子屈町成人式



晴れがましい気持ちで記念撮影

式典では、新成人を代表して猪狩大智さんと深谷美涼さんが「社会人として、向上心をもって成長していきたい」と誓いのことを読み上げたほか、常陸美奈さんが谷口國廣弟子屈警察署長を前に、交通安全宣言を行いました。

式典に引き続き、ユースフルネットワークてしかが(山内功丞会長)が中心となって祝賀会を開催。豪華な景品が目指したゲームなどが行われ、新成人の皆さんが楽しんでいました。

第65回弟子屈町成人式が1月13日、摩周観光文化センターで行われました。

今年、町内で成人を迎えたのは68人。式典にはそのうちの52人が出席しました。華やかな晴れ着や真新しいスーツに身を包んで出席した新成人は、友人との再会や大人としての出発を喜び合っていました。

友人と談笑する新成人の皆さん

町民宿泊促進支援事業のご利用を

平成22年4月からスタートした「町民宿泊促進支援事業」ですが、現在までに延べ8,000人以上の方が利用されています。

クラス会や親族の集まり、地元サークル活動などの集まりでは、地元の宿泊施設へ泊まっただけ、支援事業を積極的に利用していただくようお願いいたします。

支援事業は、お一人何度でも利用可能です。町内で宿泊の予定がありましたら、役場観光商工課か役場川湯支所で助成券の申請をしてください。

問い合わせ先/役場観光商工課観光商工係
☎482-2940 (課直通)まで。



模擬会議に真剣に取り組む参加者の皆さん

てしかがえこまち推進協議会(会人財育成部会)秋原寛暢部会長は12月1日、川湯ふるさと館で「ファシリテーション入門講座」を開催しました。NPOファシリテーションきたのわ(宮本奏代表)と共催で行ったもので、大勢の町民らが参加しました。

「ファシリテーション」は普段聞きなれない言葉ですが、一言で言うと会議を円滑に進める手法のことです。

講座では、町内外から集まった参加者が、それぞれが抱える、会議進行の場で困ったことなどを挙げましたが、どの現場でも似たような悩みを抱えているようです。そこで初めに、本来あるべき「会議」とは一体どういうものなのかというところを参加者で共有。とち会議を円滑に、しかも効率よく進めるためにはどうしたらよいかなどの手法を学ぶとともに、講座の中で実際にグループに分かれ模擬会議を試行するなどして学習しました。

会議を進める上で大切なことは「事前準備」「共有・発散・収束・決定の4段階での進行」「参加者が安心して発言ができ、議事を整理する進行役を立てる」「板書役を立て、議論を可視化する」「座席の配置など、会議をしやすい場づくり」などであると学び、講座は終了しました。

部会長の秋原さんは「会議の進め方が具体的に理解でき、積極的に実践に取り入れていきたい」と話し、講座の成果を実感していました。また、今後もさまざまな講座を開催していきたいとしています。

会議を効率よく進めるために

てしかがえこまち推進協議会